

平成30年度 J V A国内事業本部 審判規則委員会 運営基本方針

平成30年度審判規則委員会の運営基本方針を以下の5項目とする。

- 1 映像等を活用し判定基準の統一を図り、安定した審判技術とメンタル面の強化に努める。また、試合中の選手やチームスタッフの言動に対しては、ルールを的確に適用し、公平・公正で手際の良い判定により安全で円滑な競技運営を行う。
- 2 選手・指導者を対象に、ルール及びルールの取扱いについて説明を行い、ルールの正しい理解とともにルール遵守を醸成する。
- 3 A級候補審判員講習会（ACキャンプ）、9人制特別A級候補審判員講習会（9人制ACキャンプ）、ビーチバレー特別A級候補審判員講習会（ビーチACキャンプ）を実施し、若手審判員の技術向上を図るとともに、B級審判員講習会（B級キャンプ）を開催し、さらに次世代を担う人材の発掘を進める。
- 4 男女共同参画をさらに進めるため、各カテゴリー・各都道府県にも女性審判員の活動の支援を推進すると共に、メンタル面の強化及び審判技術の向上を図る。
- 5 国内競技会及び国際競技会の成功を期すため事前講習会を開催し、スコアラー・アシスタントスコアラー・ラインジャッジ・コートオフィシャルの質的向上を図る。特に、2020東京オリンピックに向けて、スコアラー、ラインジャッジ、コートオフィシャルについて効果的なトレーニング計画を立て、実践を通してレベルアップを図る。

指導部：審判員の技術の向上を目指し、カテゴリーに応じた適切な講習会を実施する。
また、審判員の責務として、選手及びチームスタッフに対しルールを正確に伝達してルールの理解を深めるよう努力する。

- (1) A級審判員の技術レベルに応じたスキルアップ事業を推進する。
- (2) 各カテゴリーのチームの選手・指導者に対しルールの説明を、行い信頼関係を築く。
- (3) 女性審判員の育成に努める。
- (4) 公認審判員、特に若手審判員の育成に努め、裾野の拡大を図る。

規則部：見易く正確で分かり易いルールブックの作成を目指し、6人制をはじめ4種別のケースブックの編集・整理を行っていく。また、東京オリンピックに向けて6人制とビーチバレーボールのルールブックの英文併記を検討していく。
9人制についても競技の活性化を図るために、親しみやすいバレーボールを目指し、そのルールの研究を進める。

登録部：JVAメンバー制度（MRS）に従って、公認審判員のMRS登録の増加を図るとともに、公認審判員の現状把握を行う。

以上